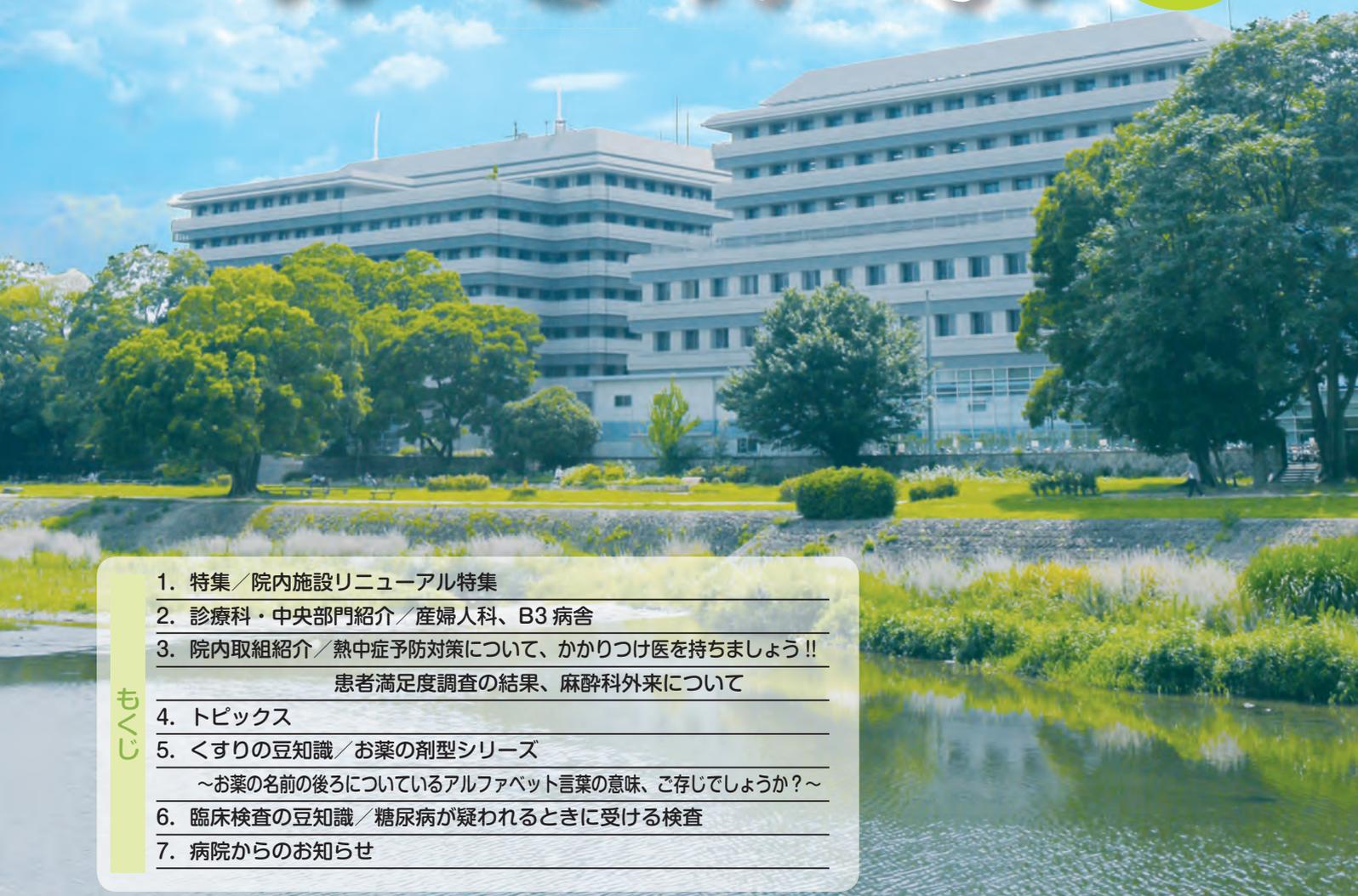




# かまがわ

第13号  
2014.8



ま  
ぐ  
し

1. 特集／院内施設リニューアル特集

---

2. 診療科・中央部門紹介／産婦人科、B3病舎

---

3. 院内取組紹介／熱中症予防対策について、かかりつけ医を持ちましょう!!  
患者満足度調査の結果、麻酔科外来について

---

4. トピックス

---

5. くすりの豆知識／お薬の剤型シリーズ  
～お薬の名前の後ろについているアルファベット言葉の意味、ご存じでしょうか?～

---

6. 臨床検査の豆知識／糖尿病が疑われるときに受ける検査

---

7. 病院からのお知らせ

## 病院理念 世界トップレベルの医療を地域へ

### 基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。

---

- 患者様の権利を尊重し、患者様本位の医療を提供します。

---

- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。

---

- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。

---

- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

### 患者様の権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。

---

- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。

---

- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。

---

- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。

---

- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。

# 院内施設を リニューアルしました!!

平成 26 年度にリニューアルをした院内各施設をご紹介します。  
「世界トップレベルの医療を地域へ」と病院理念にあるように、今後もよりよい医療を患者様へ提供できるよう、努力してまいります。

## 中央診断部 E棟 2～4階

### 2階 内視鏡室



内視鏡室の医師と看護師長

4月にE病棟2階に内視鏡室が新しくオープンしました。  
1フロアの中に合計6つの新しい検査室ができました。  
主に内視鏡手術を施行する検査室は以前の検査室より広くなり、また1室はレントゲン装置を備え、小腸内視鏡などの放射線科で実施していた検査も内視鏡室でできるようになり、より機能的となりました。  
みなさまが安心して検査を受けられるようスタッフ一同心掛けておりますので今後ともよろしくお願いたします。

### 4階 超音波室

1986年(昭和61年)に設立された中央診断部・超音波室ですが、E病棟4階に移転し、2014年4月21日からリニューアルオープンしました。  
旧超音波室(305.0㎡)に比べて新超音波室(226.1㎡)は小振りになりましたが、多くの学外医療施設の視察を行い、スペースを有効活用する設計と運用で、患者様にご満足いただけるように配慮しております。  
心エコー、腹部エコーをはじめ、年間約1万人もの各種超音波検査・治療を行っています。9検査室を配置しており、臨床研修にも幅広く対応しております。



超音波室



## 放射線部 病棟1階・地下1階

放射線部ではCTと血管造影装置が更新され、日々の診療に役立っています。RALS(ラルス)も7月から稼働が始められました。  
CTは現在世界最高峰の320列の検出器を備えており、高速撮像が可能となっているため、心臓などの特殊撮影や息止めや身体の静止が難しい患者様に対して非常に有用です。  
血管造影装置は同時に二方向から撮影が可能で、CTのような画像を得る事もできます。頭頸部(とうけいぶ)の最新の治療を正確かつ安全に行うことができることに加えて、最新の技術で被曝量を減らして撮影することが可能となっています。  
RALS(ラルス)とは遠隔操作で小線源の放射線治療を行う装置です。放射線源を病棟の内部や近くに配置し腫瘍周囲のみを照射する事で、放射線治療の効果を増大させつつ副作用の軽減ができます。代表的疾患として子宮頸癌(しきゅうけいがん)のほか、舌癌(ぜつがん)をはじめとする頭頸部癌、前立腺癌(ぜんりつせんがん)、再発癌の治療などに用いられます。



320列CT



RALS



血管造影装置

## 救急医療部 病棟1階

このたび、救急室のリニューアルが完工しました。  
レイアウトの変更で救急室全体が広くなるとともに、<救急病床>として、入院できるベッドが3床新たに設けられました。救急室に隣接して病床が設けられたことで、救急受診から緊急入院まで、診療が密につながります。  
この病床では救急医療科が、病態の安定化のために緊急入院治療が必要な方や、救急受診された方で一晩の経過観察が必要な方などを主に診て行きます。



救急病床

## リウマチセンター 外来診療棟1階

関節リウマチは、関節炎だけでなく全身の様々な臓器にも悪影響を及ぼします。以前は使用可能な薬剤も限られ、いたんだ関節に対する手術的な治療を行っていましたが、最近は薬物療法が飛躍的に進歩して、高い確率で関節炎を改善することが可能です。  
今回、開設されたリウマチセンターでは、整形外科と内科が診察室を隣合わせにして、連携をとり診療しています。合併症のケアをしながら、積極的で、より安全性を高めた薬物治療を行い、タイミングを逃さない適切な手術を行ったり、トータルケアを目指した治療を実践します。



リウマチセンターの医師

診療科・  
中央部門紹介  
Vol.9

# 産婦人科

～正常妊娠・分娩から母体合併症、胎児異常まで～

正常妊娠を含む当院で分娩を希望するすべての方を受け入れます。  
紹介状がなくても受診可能です。当院の最大の特徴である“より安心できる”分娩を目指します。

診療室



妊娠初期は婦人科外来で、妊娠の診断や予定日決定を行います。初期検査のあと周産期外来で妊婦健診（予約）を行います。医師と助産師が協働する助産外来を行っており、正常経過であれば妊婦健診と助産外来を交互受診します。

病室



病棟（全24床うち個室7床）は主として妊娠に関連した女性のみを対象とし、安全性確保のため夜間は施錠しています。また当院で分娩された産婦さんには京都ホテルオークラの院内レストラン「オリゾンテ」の祝膳をプレゼントしています。

祝膳



正常妊娠・分娩だけでなく基礎疾患を有する妊娠、あらゆる妊娠合併症の管理も行っています。総合周産期母子医療センターのサブセンターとして京都府内の医療機関から緊急を要する妊産婦を受け入れ、小児科（NICU）や小児循環器・腎臓科、小児心臓血管外科、小児外科を併設し、特に胎児異常について診療実績を有しています。胎児外来や妊娠と薬外来、妊娠糖尿病外来といった外来の設置、4D超音波を用いた胎児スクリーニング、世界初の超音波遠隔診断システムを導入した診療も行っています。

分娩台



4D  
超音波



## 看護師紹介～B3病舎～

B3病棟には、分娩後、母児同室の新生児、切迫早産や合併症のある妊婦さんが入院しています。高度で安全な医療の提供と出産が満足できる体験となり、その後の育児が楽しいと感じていただけるよう寄り添い見守るケアを心がけています。



## 熱中症予防対策について

8月に入り、いよいよ夏本番ですね！

この季節、注意が必要なのは熱中症です。熱中症は、炎天下の屋外で起こすもの、とは限りません！

陽のあたらない室内でも起こします。発汗で「脱水」と「塩分不足」に陥るので、水分と塩分を十分に補給して発症を予防しましょう。お茶や水、ジュースだけでは塩分が不足します。

炎天下や高温環境での作業時は、十分に休憩も取りましょう。特に高齢の方は脱水に陥りやすいので注意が必要です。事前の対策で暑い夏を乗り切りましょう！



## 平成25年度「患者満足度調査」を実施しました!!

本院では、平成25年度の入院・外来患者に対する「患者満足度調査」を平成26年2月に実施しました。

詳細な結果は、院内に掲示しておりますので、御覧ください。

◇実施期間 平成26年2月3日～2月14日

◇回答数 入院 237件、外来 370件

当院に対する満足度【入院】	満足+まあ満足
総合評価	86.5% (3.2% ↑)
医師の診察や治療、対応について	89.1% (3.3% ↑)
看護師の対応や処置について	90.5% (2.1% ↑)
施設について	70.6% (4.0% ↑)
食事について	54.2% (3.5% ↑)
入院患者の薬剤師、栄養士、検査技師について	77.8% (3.2% ↑)
入院受付について	82.0% (3.9% ↓)

当院に対する満足度【外来】	満足+まあ満足
総合評価	74.5% (0.4% ↓)
医師の診察や治療、対応について	66.0% (1.4% ↓)
看護師の対応や処置について	71.3% (0.9% ↑)
施設について	68.9% (0.1% ↓)
外来の受付、検査技師について	66.8% (0.6% ↑)

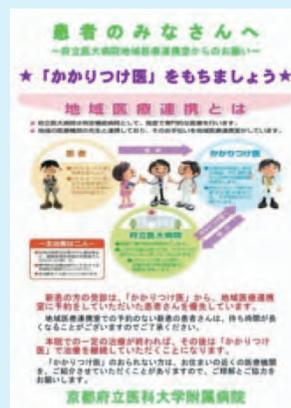
今後とも、患者様の満足度の向上に取り組んでまいります。

## かかりつけ医を持ちましょう!!

厚生労働省は、医療機関の機能に基づいた役割分担を明確にして、それぞれの医療機関がお互いに協力して患者様中心の地域医療を進めようとしています。

これは、普段の健康維持の相談や、高血圧や糖尿病に代表される生活習慣病などの慢性疾患は、診療所の先生、すなわち『かかりつけ医』が日常生活に密着した診療を行い、専門的な検査や入院が必要な治療は大学病院が行うという、病状に応じた医療機関の役割分担を進めています。

上手に医療機関を使い分けることで、安心して医療を受けていただくことができます。



## 麻酔科術前外来について

麻酔を受けられる患者様（局所麻酔を除く）には、手術決定後早期に麻酔科術前外来を受診していただきます。必要な追加検査があれば時間の余裕をもって行うことができ、麻酔（術中全身管理）上の問題点も含めて手術を理解していただけるようになります。

麻酔科外来では、まず麻酔についてのパンフレットや映像資料を見ていただきます。その後、検査結果や術前全身状態・手術法をふまえて、術中全身管理の問題点・発生する可能性のある事柄などをご説明します。

2014年4月から、2診察室が専用外来スペースとして整備されました。時間をかけた丁寧な説明と疑問・不安の解消で、ご自分の麻酔について理解を深められ、手術前に少しでも安心していただけるよう心がけています。気になることは何でもお尋ねください。



写真撮影に御協力いただいた患者様ご一家には、顔出しで掲載することを了承いただいております。

# TOPICS



## 院外処方せんへの臨床検査値の表示を始めました!!

平成26年1月14日(火)から、院外処方せんに当院で測定された臨床検査値の一部を表示しております。表示されている臨床検査値は、医薬品の使用禁忌、投与量、相互採用などをチェックするのに役立つものばかりで、保険薬局においても、これまで以上に医薬品の適正使用を強化していく狙いがあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### 【検査情報】

項目	(x 10 <sup>9</sup> )		(x 10 <sup>9</sup> )		AST	ALT	T-Bil	血清Cr	eGFR	CK	CRP	K <sup>+</sup>	HbA1c
検査日	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	2013/12/19	.....	.....	2013/12/19	2013/12/19
検査値	6.8	8.4	344	2	15	9	0.7	0.58	117.5	.....	.....	3.8	4.8



## 京都 e- お薬手帳用 QR コードの発行が始まりました!!

京都府では、現在、お薬の処方歴をスマートフォン（スマホ）で管理できる京都 e- お薬手帳の普及に力を入れております。大災害などで従来のお薬手帳を紛失された際にも常用薬が直ちに分かるというメリットがあります。当院でも平成26年4月1日(火)から、退院時のお薬に添付されるお薬の説明書にQRコードを表示しております。詳細は薬剤部窓口でお尋ねください。



## 小児医療センター春の子どもコンサート

5月29日(木)、初夏の陽気漂う小児医療センターの屋外庭園にて恒例の「春の子どもコンサート」が開催されました。文字みゆきさんによる子どもたちのリクエスト曲のエレクトーン演奏や京都 YMCA さんの楽しい歌声に、子どもたちやご家族の方々の笑顔が輝いていました。小児科・細井教授の歌のサプライズ出演もあり、子どもたちもビックリ。心地よい風に吹かれ、みんなで素敵なひと時を過ごしました。



## 「ほほえみ川柳」 入選作品決定!!

本院では、「患者図書室ほほえみ」開設1周年記念イベントとして「ほほえみ川柳」を広く募集したところ、全国から約600点もの応募をいただき、ありがとうございました。この度、入選作品が決まりましたので、次のとおりご紹介するとともに、ご来院の際は、ぜひ「ほほえみ」にお立ち寄りください。

### 【入選】

待ち合わせ	「ほほえみでね」が	合言葉	(栗かのご)	スタッフに	ほほえみ返し	きょう退院	(春舟)
一冊の	本も大事な	処方箋	(日輪草)	リハビリの	後はぶらりと	ライブラリ	(たんご人)
きつとある	今の自分に	効く言葉	(澄華)	読み聞かせ	ホントの絆	子と結び	(星の砂)
車いす	文学少女の母を	乗せ	(湘路)	診察券	出して直行	図書室へ	(生麦小町)
病院を	図書館と呼び	孫来たる	(木立慈雨)	医者通い	あの泣き虫が	本の虫	(万歩計)



※他にも本事業に協賛いただいた企業から、オリゾンテ賞、ローソン賞、クリエ賞がそれぞれ選ばれました。

お薬の名前の後ろに「D」、「L」、「CR」などのアルファベットが付いているものがあります。これらの中には、お薬の剤型を示しているものがあります。

## ★ 「D」・「OD」



錠剤が唾液または少量の水で溶けることにより、飲み込みやすくした剤型です。飲み込むのが苦手な患者様に使いやすいお薬です。

## ★ 「L」・「CR」



お薬の効果が長く続くようにした剤型です。1日に飲む回数が減ることにより患者様の負担を軽減します。コーティング等に工夫がしてあるので、噛まないでください。

お薬は、患者様の使いやすさ・飲みやすさも考え、日々研究されています。

## 臨床検査の 豆知識

臨床検査部 連載企画

## 第5回 糖尿病が疑われるときに受ける検査



### 糖尿病を診断するための検査項目

血糖値(Glu)

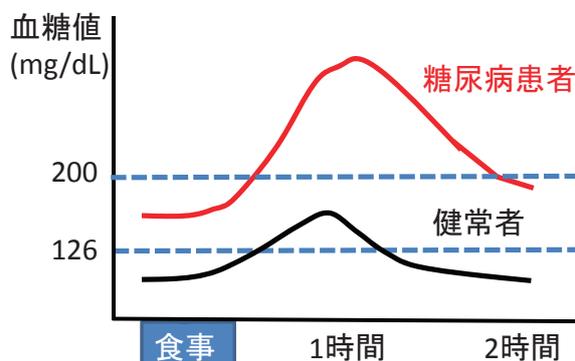
グリコヘモグロビン(HbA1c)

75g経口糖負荷試験(OGTT)

### ● 食事による血糖値の変化

血糖値は食後上昇しますが、健常者では200mg/dLを超えることはありません。一方、糖尿病の方は200mg/dL以上に上昇したり、血糖値が元に戻るのに時間がかかります。

### 食事による血糖値の変化(イメージ図)



### ● 検査を受ける前の注意点

血糖値の検査は空腹時血糖値が基準です。空腹時血糖値とは10時間以上絶食(水は可)した後で採血して血糖を測定した値です。



### ● 糖尿病の診断と検査

糖尿病は症状と検査値を総合的に判断して、医師が診断します。糖尿病の検査について詳しくお知りになりたい場合は、臨床検査部検査相談室(採血室近く)までお越し下さい。

# 病院からのお知らせ



## (1) イベント・講座等開催予定（平成26年8月～平成26年11月）

事 項	時 期	内 容	参加費	問合せ先
1		<b>ひだまりサロン</b> ◆平成26年8月7日（木）13:30～14:30 「がんの治療と薬について」 ◆平成26年10月2日（木）13:30～14:30 「婦人科がん術後のリンパ浮腫」 ◆平成26年11月6日（木）14:00～15:00 療養中の患者さんご家族の 「フリー座談会 胃がん」 ゲスト：消化器内科 小西 英幸先生 <b>ひだまりサロン For Kids（小児）</b> ◆平成26年9月4日（木）11:00～12:00 小児がん「子ども病棟の今、これから」 こども東病棟 松尾 恵美師長 （託児あり）	無料	がん相談支援センター TEL：075-251-5283
		がん患者様とご家族を対象にした患者サロンとミニ講習会です。（がん患者様やご家族が体験を語り合い、情報を交換する場です。） 会 場 定 員 京都府立医科大学 外来診療棟1階 カンファレンスルーム 20名		
2		<b>歯科公開講座</b> 「第19回歯の健康講座」 平成26年 10月25日（土） 13:00～15:00 ・歯科健診および身体測定（13:00-14:00 希望者のみ） ・講演（14:00-15:00） 「(仮)歯を長持ちさせるヒントと歯を無くしたときの対処法について」 京都市上京区歯科医師会 歯科医師 正木文浩先生 ・相談コーナー ・歯ブラシ等の清掃グッズの展示 会 場 定 員 京都府立医科大学 基礎医学学舎1階 100名	無料	歯科 TEL：075-251-5043 FAX：075-251-5045
3		平成26年 10月4日（土） ① 13:00～13:30 ② 13:30～14:00 ③ 14:00～16:00 ①近視進行予防点眼 トライアル説明会 ②近視矯正手術 LASIK説明会 ③第2回眼科府民講座 「角膜、眼形成」 ①小学生を対象にした近視進行予防点眼（めくすり）の臨床研究説明会です。近視進行予防にご興味のある小学生多数の参加をお待ちしています。 ②近視手術レーシック普及のため、眼科学教室が開催している一般市民向け公開講座。 ③患者さんへの情報提供のため年4階眼科が開催している一般市民向け公開講座。 会 場 定 員 (①～③いずれも) 京都府立医科大学 北臨床講義室 (①～③いずれも) 100名	無料	眼科 加藤 浩晃 TEL：075-251-5578

## (2) その他のお知らせ

事 項	内 容	問合せ先
1	<b>診療予約情報をメールでお知らせ</b> ご希望のメールアドレスに診療予約情報を予約日の前日に送信するサービスを行っています。 平日午前9時～12時まで登録を受け付けますので、登録希望の方は外来診療棟1階総合案内までお申し出ください。	病院経営企画室 TEL：075-251-5254



休 診 日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

初診受付時間 午前8時45分～午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。  
敷地内は全面禁煙といたしております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

次 回  
平成26年12月  
発行予定



京都府立医科大学附属病院

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465  
 電話：075-251-5111（代表）  
 HP：http://www.h.kpu-m.ac.jp